

ベトナム不動産市場、2025 年回復基調へ

2025年4月28日 作成

カテゴリー ベトナム一般概況 経済

ベトナム不動産市場、2025 年回復基調へ

ベトナム国内の 2025 年第 1 四半期不動産市場は、前年同期比では力強い回復傾向を示したもの、直近四半期比では新規供給量が約 60% 減少するなど調整局面となった。

特にテト休暇や北部地域の不動産市場の熱気低下が影響している。しかし、前年同期比では新規供給が 103% 増加、取引量も約 221% 増加し、回復の兆しが鮮明である。

北部が供給の約 67% を占めた一方で、南部市場も吸収率で北部と拮抗し、バランスが取れつつある。2025 年第 2 四半期以降は、多数のプロジェクトの販売開始により供給拡大が予想される。

価格動向については、高級物件を中心に初回販売価格が 3~5% 上昇、二次市場では 10~15% の上昇が見込まれている。

行政改革、地方統合、自然災害、米国の対ベトナム高関税政策などの外部要因により、市場心理は慎重さを保つ見通しである。

Dat Xanh Services は、第 2 四半期における不動産市場の成長について、楽観、期待、慎重という 3 つのシナリオを提示しており、総じて段階的な回復基調を想定している。

以上